

2/26 五曜

チェルノブイリ原発占拠許されぬ

野口邦和氏に聞く

ロシア軍がウクライナ北部にあるチェルノブイリ原発を占拠した問題について、野口邦和・元日本大学准教授（放射線防護学）に聞きました。

◇ 外国の軍隊が勝手に



野口邦和さん

やって来て他国の原子力施設を占拠したこと自体とんでもない問題

です。侵略行為そのもので決して許されることではありません。1986年に起きた世界最悪の原発事故から36年たちますが、核燃料などが存在する施設を外国の軍隊が原発スタッフを人質にとっ

て公然と占拠したのは歴史上初めてです。事故が起きた原子炉は4基のうちの4号炉です。核燃料などが事故時のままになっており、「石棺」と呼ばれるシェルターに覆われた状態で管理されています。仮に占拠中に放射性物質が漏れ出たりするような事態になれば、周辺の住民や近隣諸国

へ不安を与え、世界中から非難を浴びることになります。ロシアに悪影響を与えるものでもなく、近づけば放射線量も高いので、占拠しても何の利益もない施設です。占拠の目的は分かりませんが、戦略的に有利になるといっても、かえって国際的な批判を強めるだけではないでしょうか。